

さくらだより

vol. 51

2025年3月20日発行



三和鋼産 **高橋 圭太**

(前編の続き)

2024年7月にグループの一員となった株式会社三和鋼産。前身となる「新栄」の代表である佐藤と、さくらグループの代表である高橋とのつながりから、連携が実現する。だが、実際それが成し遂げられるまでには、社員の中には不安を抱えていた人物もいた。その一人が、高橋圭太だ。しかしそれもすぐに解消。さくら株式会社代表である高橋の人柄とリーダーシップにほれ込み、今ではこのグループの一員になれたことに喜びを感じるようになった。

新しい挑戦が 楽しくて仕方ない

設備工事で重要なのは繊細さだ。設備関係ではたった一つのミスも命取りになりかねない。万が一、ボルトの締め付けが緩く、稼働中に外れてしまえば大惨事。た

かがボルト一本、されどボルト一

本、確認は怠らない。高橋は元来細かい作業が好きな方だ。仲間と協力しながら仕事をする以上、常に周囲の動きには気を配る。周りにも注意を払うよう意識はしているが、作業に夢中になると集中しすぎて心配されることもあるほどだ。しかし作業が大変であればあるほど、完成したときの達成感はひとしおだ。

さくらグループに加入してからは、配管関係の業務も請け負う機会が増えてきた。まったくの素人だった高橋にとって、新鮮な学びに溢れている。案件を重ねるごとに、その魅力にはまっていった。設備関係の仕事と同様、いやそれ以上に業務を終えたあとの達成感が大きい。そのような感情を味わえると思うと日ごろの仕事のモチベーションも高まっていく。今はとにかく、さくらでの日々が楽しくて仕方ないと感じている。

一人ひとりの人生を 応援してくれる社風

仕事をする中で、さくらの社員たちの温かさに触れる機会も増えていく。特に助けられたのは、専務の千葉のアドバイスだ。ある日出張が多く、「なかなか家族との時間を持てずに悩んでいる」と、何気なく千葉に話した。千葉はさすが「家族との時間を大切にしたい方がいい。仕事は忙しくて、どうにかほかの人で回せるだろう。それよりも、家族の時間を優先しろ」と背中を押してくれた。

グループの一員となってまだ日も浅い自分に対して、親身に温かい言葉をかけてくれることに、高橋は感動した。仲間の幸せを願い、そのた



めにお互い支え合うというさくらの企業文化を実感。それこそが、さくらの強さの源泉だと感じた。

学び続けることの意義

三和鋼産のグループラインに毎日必ず届く、社長からのメッセージ。示唆に富み、ビジネスパーソンとして自身が成長するための種が、ふんだんに蒔かれている。社長に触発され、読書をするようになった。勉強は学生時代だけで終わりではない。仕事をしていけば、生涯学び続けていく必要があるのだと実感している。正直、学生のころはそれほど勉強が好きではなかったが、今になって、教科とは違う「学び」に目覚めた。わからないことが出てくれば積極的に調べて知識を蓄え、その一步一步が、スキルアップにつながっている。社長との会話は、特に勉強になる。それは三和鋼産の代表である佐藤との会話でも感じた。しかしレベルが高く、思うように議論に



参加できずに歯がゆい気持ちになることもあり、自分の勉強不足を痛感する。一朝一夕には同じレベルにまでたどり着かないかもしれないが、それでも諦めない。まずは目の前の新しい仕事をしっかりと覚えて、その上で、社会人としての素質を高めるために読書や勉強をしていきたいという。

いつか 社長に近づきたい

三和鋼産の一員であり、さくらグループのメンバーでもある高橋。今後の目標は「皆さんに目標とされる人材」になることだ。社長の高橋に対しては、尊敬と憧れを抱いている。皆さんの目標となる人材……

企業情報

設立年：2012年4月
年商：11.6億円
※ 2022年3月決算時点

高橋にとってその最たる人物は、ほかでもない代表取締役社長の高橋である。進み続ける道の先に、代表の高橋が待っているに違いない。迷いながらも前を向き、さくらのメンバーとして歩んでいくことと決めたあの日の決断に、間違いはなかった。

日々勉強を重ね、配管関係の業務を覚えるのを第一としつつも、目指す背中があるのは大きなやりがいにはかならない。憧れの存在に近づくため、これからは高橋は挑戦を続けていく。



高橋 圭太 さんってこんな人！

2号連続で巻頭インタビューに登場いただいた高橋さんについて、親交の深いお二人にお話を伺いました！



三和鋼産
さとう だいすけ
佐藤 大祐さん

高橋さんとの関係性

前職から同期として働き、一緒に会社を盛り上げていた10年来の仲間です。普段は「けいた」と呼んでいます。仕事でうまくいかない時期があり、一緒に三和鋼産に転職してきました。出会った当初はあまり話すことがなく、仲良くなることも想像できなかったのですが、今では仕事でもプライベートでもよく連絡を取り合う関係。子ども同士も同い年のため、「子どもと一緒に遊ばせようか」という話からプライベートでも関わりを持つようになっていったと思います。

高橋さんを一言で表すと

「信頼」

お互いに大変なことやつらい時期を乗り越え、それでも一緒にいてくれる仲間として信頼しています。私が悩んでいるときに相談に乗ってくれたり、頼んだ仕事を嫌な顔せずにやってくれたり。これから先も一緒にいたいと思える、唯一無二の存在です。

思い出エピソード

天然なところがあり、話のすれ違いが起きることがあります。特に最近では人の名前を覚えるのが苦手なようです。また、お酒を飲むと、よく話し、よく吐きます(笑)酔っ払うまで飲むことが多い印象です。

メッセージ

毎日「腰が痛い」と言っている高橋さん。35歳を迎え、これからはもっと身体に不調が出てくることと思います。お互い適度な運動をして、健康には気をつけましょう。

高橋さんとの関係性

圭太さんは私の直属の上司にあたります。出会いは入社する前。以前勤めていた職場の先輩が圭太さんの同級生で、転職を考えていた私に紹介してくれたのが始まりでした。最初はあまり話さないクールな印象でしたが、実際はとても話しやすく、今では何でも相談したくなる頼れる先輩です。

高橋さんを一言で表すと

周りをよく見ている人

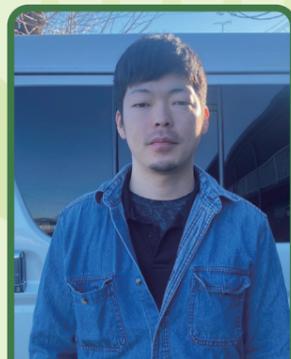
いつも皆が気付かないような、細かいところまでよく見えている人です。業務上のことだけでなく、メンバーの表情から体調を気遣う姿も見られます。言いたいけれどなかなか言い出せないようなことも、圭太さんが察して声を掛けてくれたことで、助けられたことが何度かありました。

思い出エピソード

圭太さんとは長く同じ現場を担当しており、一緒に出張に行ったことも。いつもわからないことを丁寧に教えてくれて、本当に日々助けてもらっていると感じます。また、仕事のことでなく、プライベートの面でも相談に乗ってもらっています。私の話を親身に聞き、解決策と一緒に考えてくれる優しい先輩です。

メッセージ

いつも相談事に乗っていただき本当に感謝しています。これからわからないことが出てきた際はたくさん質問してしまおうと思いますが、引き続き助けていただければと思います！



三和鋼産
せきね しゅう
関根 柁さん

さくら社員に聞きたいこと！

質問をしてくださった方

三和鋼産 高橋 瑞樹さん たかはし みずき
ユニー 小山田 弘幸さん おやまだ ひろゆき
三和鋼産 越前 純一さん えち ぜん じゅんいち
ユニー 熊居 寛之さん くまい ひろゆき

仕事のことからプライベートのことまで、さくら社員に気になるあれこれをインタビュー！
仕事への向き合い方や社内の雰囲気、おすすめのお酒まで、ざっくばらんに聞いてみました。

回答してくださった方



わし お ゆう や
工務部2課 鷺尾 祐弥さん

業務編① 配管溶接の上達法

大切なのは、自分なりに練習すること。時間外に練習したり、自分で試してみてもわからないことは、先輩に聞いたりしています。地道に頑張ってみてください。

業務編② 仕事で悩んだときは...

みんなに相談します！

業務編③ さくらへの入社理由

皆さんの仲間意識が高く、本当の家族のような温かさに惹かれたことが決め手でした。

プライベート編① 休日の過ごし方

普段は仕事が忙しいこともあり、休日は寝て過ごすことが多いです。

プライベート編② お気に入りのお酒

おすすめは、アサヒスーパードライです。

回答してくださった方



てらさわ とし ひろ
工務部 寺澤 寿洋さん

業務編① ティグ溶接のコツ

溶接トーチは、一定の角度で脚長を揃えながら溶接します。タングステンは、金属やプールに接触させないよう注意が必要です。ローリングは、ビードの両端を揃える様に意識しながら、手が滑らかに動くまで繰り返し練習が必須。溶接を行うときには、肩の力を抜き、リラックスした状態で行うことがポイントです。

業務編② 仕事をしていて絶対に譲れないこと

品質です。お客さん目線で満足できるか否かを考えて仕事をしています。

業務編③ 休日出勤を頼まれたら.....

基本会社優先です。

会社編① 今後のスキルアップについて

技術だけでなく、社員育成や管理業務のスキルも向上させていきます。

会社編② さくらの長所と短所

長所は社員、協力業者が多いこと、また幅広い仕事ができることです。短所は社員の育成が追いついていないことだと思います。